

国際平和協力法に基づく物資協力の実績

(平成22年10月1日現在)

	協力先	開議決定	品目及び数量	目的
1	国連カンボジア暫定機構 (UNTAC)	(第1回) 平成4年9月11日	テレビ(200台) ビデオ(200台) 小型発電機(200台)	カンボジア国民に対し、自由公正な選挙等についての広報・教育効果を高めるために使用。
2		(第2回) 平成5年1月22日	医薬品(50セット)(*1) 小型ラジオ(40,000台) ラジオカセットレコーダー(1,000台)	武装解除兵士及びその家族の健康対策に使用。 カンボジア国民に配布し、UNTACが行ったラジオ放送による広報・教育効果を高めるために使用。
3	国連モザンビーク活動 (ONUMOZ)	平成6年7月26日	テレビ(200台) ビデオ(200台) 小型ラジオ(40,000台)	モザンビーク国民に対し、自由公正な選挙等について広報・教育効果を高める等のために使用。
4	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	平成6年8月12日(*2)	医薬品等(1セット) 緊急ヘルスセット(5ユニット) 大型テント(43張) スリーピングマット(2,600枚) 毛布(3,550枚) 簡易水槽(213個) シャベル(1,000本)	ザイール(現コンゴ民主共和国)等においてルワンダ難民に対し行われているUNHCRの活動に使用。
5	国連兵力引き離し監視隊 (UNDOF)	平成7年12月15日(*3)	プレハブ資機材一式	UNDOF要員(14名分)の生活、勤務環境の整備のために使用。
6	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	(第1回) 平成11年4月6日(*4)	テント(1,000張)	アルバニア等におけるコンゴ難民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
7		(第2回) 平成11年4月27日(*4)	毛布(10,000枚) スリーピングマット(5,000枚)	
8	国連東ティモール・ミッション (UNAMET)	平成11年6月22日	ラジオ(2,000台)	東ティモールでUNAMETが行う拡大自治受入れに関する直接投票の広報活動に使用。
9	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	平成11年10月22日(*4)	テント(500張) 毛布(9,000枚) スリーピングマット(11,140枚) 給水容器(20,000個) ビニールシート(5,120枚)	インドネシア及び東ティモールにおいて行われている東ティモール避難民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
10	国際移住機関 (IOM)	平成13年3月23日(*4)	テント(160張) 毛布(1,200枚) ビニールシート(1,600枚)	アフガニスタンにおいて行われているアフガニスタン被災民に対するIOMの人道的な救援活動に使用。
11	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	(第1回) 平成13年10月5日(*4)	テント(315張) 毛布(200枚) スリーピングマット(20枚) 給水容器(400個) ビニールシート(75枚)	パキスタンにおいて行われているアフガニスタン難民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
12		(第2回) 平成13年10月19日(*4)	テント(500張)	
13	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	平成15年3月28日(*4)	テント(160張)	ヨルダン及びシリアにおいて行われているイラク難民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
14	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	平成16年10月5日(*4)	テント(700張)	チャドにおいて行われているスーダン難民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
15	国連スーダン・ミッション (UNMIS)	平成17年7月29日	地雷探知機(60台) 四輪駆動車(27台) 大型テント(20張)	スーダンにおいて行われる国連スーダンミッション(UNMIS)の活動に使用。
16	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	平成18年10月31日(*4)	スリーピングマット(10,000枚) 給水容器(10,000個) ビニールシート(4,000枚)	スリランカにおいて行われているスリランカ被災民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
17	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	平成19年11月6日(*4)	毛布(10,000枚) スリーピングマット(10,000枚) 給水容器(10,000個) ビニールシート(4,000枚)	スーダン・ダルフル地域において行われているスーダン被災民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
18	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	平成19年12月28日(*4)	テント(1,000張)	イラクにおいて行われているイラク被災民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
19	国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	平成20年10月28日(*4)	逆浸透膜方式小型浄水器(60台) (交換用フィルター付き)	スーダン南部地域において行われているスーダン被災民に対するUNHCRの人道的な救援活動に使用。
20	国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA)	平成21年1月23日(*4)	毛布(29,000枚) ビニールシート(8,000枚) スリーピングマット(20,000枚)	ガザ地区において行われているパレスチナ被災民に対するUNRWAの人道的な救援活動に使用。
21	国際移住機関 (IOM)	平成21年5月15日(*4)	テント(560張) 給水容器(30,000個) ビニールシート(4,000枚) スリーピングマット(10,000枚) 蚊帳(1,000張)	スリランカにおいて行われているスリランカ被災民に対するIOMの人道的な救援活動に使用。

- (*1) 医薬品1セットは、1万人3か月分相当量。
- (*2) JICA備蓄物資の譲渡を受けて物資協力を実施。
- (*3) 防衛庁からの管理換えにより調達。
- (*4) 備蓄物資を使用。



物資協力をを行った被災民キャンプの全景(アフガニスタン)



物資協力をを行った難民キャンプの子供たち(チャドのスーダン難民)